学科 学年	M 2	科目 分類	金属材料学 I [金材 I] Engineering Materials I	講義 必修	通年 2履修単位	学習教育 目標 2	担当	井上 聡 INOUE Satoshi
概 要	機械の設計・製作にあたっては適切な材料を選択して使用することが求められる。このため機械材料として広く使用されている金属材料を取り扱うために必要な基本概念と実用材料について、材料を使用する者の立場から解説する。前期には金属材料に共通した基本的な考え方について学習する。後期には鉄鋼材料の基礎から実用炭素鋼までの実用的事項について学習する。							
科目目標 (到達目標)	結晶構造、合金の構造、金属の変形機構と強化機構、回復と再結晶、固体拡散、相律、2元系平衡状態図、金属の機械的性質、鉄鋼材料の組織・加工・熱処理、実用炭素鋼について理解して説明できること。							
教科書・器材等	機械材料・材料加工学教科書シリーズ：1 基礎機械材料							
評価の基準と 方法	不定期に行なう小テストと課題レポートを20%、4回の定期試験成績を各々20%の割合で平均し最終評価とする。60点以上を合格とする。公休以外の理由による追試験は行なわない。追試験は80点満点とする。							
関連科目	化学							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	材料と機械設計 金属材料の基礎	ガイダンス・金属元素と周期表・金属の特性・金属結合					
第2回			金属の結晶構造(1)					
第3回			金属の結晶構造(2)・結晶面および方向の表示法					
第4回			多結晶と単結晶・合金の構造・固体拡散					
第5回			変形機構・格子欠陥・転位					
第6回			加工硬化と再結晶・冷間加工と熱間加工					
第7回		定期試験(前期中間)						
第8回		テスト返却						
第9回		状態変数・相律・平衡状態図(1)						
第10回		平衡状態図(2)						
第11回		平衡状態図(3)						
第12回		金属の強化機構						
第13回		材料の基本特性						
第14回		機械的性質と評価法(1)						
第15回		機械的性質と評価法(2)						
第16回	×	定期試験(前期末)						
第17回		テスト返却						
第18回		鉄鋼材料 I						
第19回		純鉄・炭素鋼の基礎(Fe-C系平衡状態図)						
第20回		炭素鋼の基礎(冷却速度による組織変化)						
第21回		鉄鋼材料の製造方法・鋼塊と鋼材・不純物						
第22回		鋼の塑性加工・鋼の脆性						
第23回		熱処理(1)						
第24回		熱処理(2)						
第25回		定期試験(後期中間)						
第26回	テスト返却							
第27回	熱処理(3)							
第28回	熱処理(4)							
第29回	鉄鋼材料 II							
第30回	実用炭素鋼(一般構造用鋼・機械構造用鋼)							
第31回	実用炭素鋼(工具鋼・軸受け鋼・ばね鋼・その他)							
第32回	表面改質(1)							
第33回	表面改質(2)							
第34回	×	定期試験(学年末)						
第35回		テスト返却・授業アンケート						
オフィスアワー	平日17:00まで							
授業アンケートへの対応	①授業のはじめに当日の目標とアウトラインの説明を、終わりには要点の整理をする。②板書内容を精選する。							
更新履歴	2011. 4. 04第2版							